



2003年度  
(平成16年3月期)

# 決算説明会

エーザイ株式会社

- 1 . 2 0 0 3 年 度 実 績
- 2 . 持 続 す る 成 長
- 3 . 第 一 期 グ ロ ー バ ル 化 の 幕 開 け
- 4 . 2 0 0 6 年 度 へ の ロ ー ド マ ッ プ
- 5 . 2 0 0 4 年 度 通 期 業 績 ・ 配 当 見 通 し

# 2003年度実績

# 連結決算実績

(億円、%)

	2002年度			2003年度			
	実績	売上比	前期比	実績	売上比	前期比	増減額
売上高	4,666	100.0	108	5,002	100.0	107	336
売上原価	1,026	22.0	101	972	19.4	95	54
売上総利益	3,640	78.0	110	4,029	80.6	111	389
研究開発費	597	12.8	108	690	13.8	116	93
販売管理費	2,284	49.0	113	2,509	50.2	110	224
営業利益	759	16.3	104	831	16.6	109	72
経常利益	761	16.3	100	834	16.7	110	72
当期純利益	410	8.8	112	501	10.0	122	91

# 主要製品売上高

(億円、%)

製品名	所在地	2002年度	2003年度	前期比	増減額
アリセプト	計	1,153	1,416	123	263
	日本	219	284	130	66
	北米	745	879	118	134
	欧州	166	228	137	61
	アジア他	23	25	109	2
パリエット/ アシフェックス	計	1,174	1,290	110	116
	日本	58	146	251	88
	北米	1,038	1,055	102	18
	欧州	65	73	113	8
	アジア他	13	16	117	2
メチコバル	計	330	339	102	8
	日本	302	306	102	5
	アジア他	29	32	112	3
セルベックス	計	269	246	91	23
	日本	267	244	91	23
	アジア他	2	2	101	0

# 所在地別売上高

(億円、%)

	2002年度		2003年度			
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	増減額
日本	2,506	53.7	2,609	52.2	104	103
北米	1,795	38.5	1,945	38.9	108	150
欧州	273	5.9	348	7.0	128	75
アジア他	91	2.0	99	2.0	108	7
海外計	2,160	46.3	2,392	47.8	111	232
合計	4,666	100.0	5,002	100.0	107	336

外部顧客に対する売上高

# 所在地別営業利益

(ロイヤルティ控除前)

(億円、%)

	2002年度		2003年度			
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	増減額
日本	485	60.7	467	53.0	96	19
北米	264	33.0	350	39.8	133	86
欧州	34	4.2	46	5.2	136	12
アジア他	17	2.1	18	2.1	107	1
海外	315	39.3	414	47.0	132	99
小計	800	100.0	881	100.0	110	81
消去・全社	41		50		121	9
合計	759		831		109	72

# Eisai Inc. 損益実績

(百万ドル、%)

	2002年度			2003年度			
	実績	売上比	前期比	実績	売上比	前期比	増減額
売上高	1,490	100.0	117	1,734	100.0	116	245
アリセプト	611	41.0	115	777	44.8	127	166
アシフェックス	851	57.1	122	933	53.8	110	82
営業利益	52	3.5	114	88	5.1	171	37
当期純利益	32	2.2	99	53	3.1	165	21

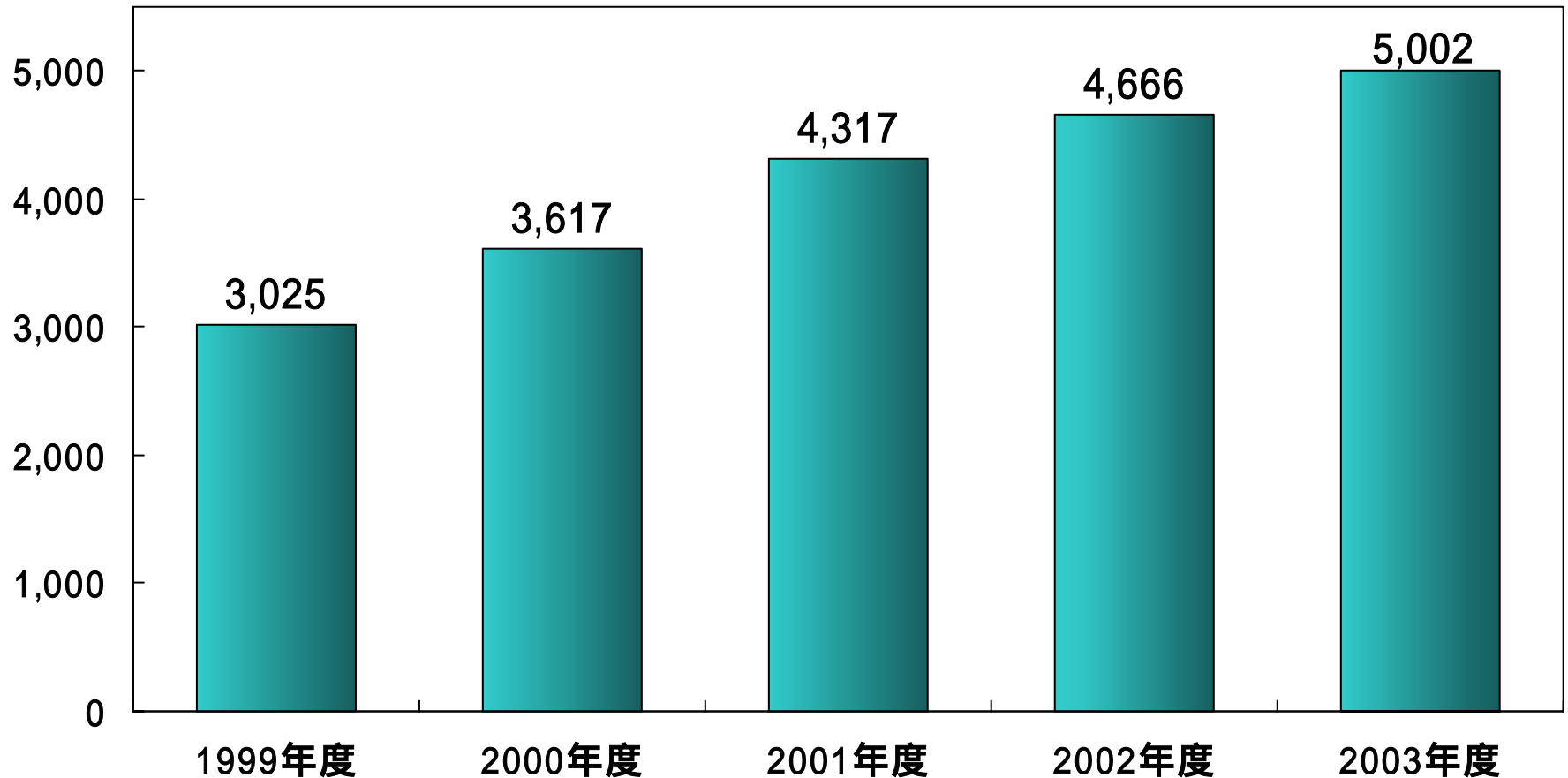
営業利益 (ロイヤルティ控除前)	222	14.9	127	301	17.4	136	80
---------------------	-----	------	-----	-----	------	-----	----



持続する成長

# 5期連続最高実績の達成 - 売上高 -

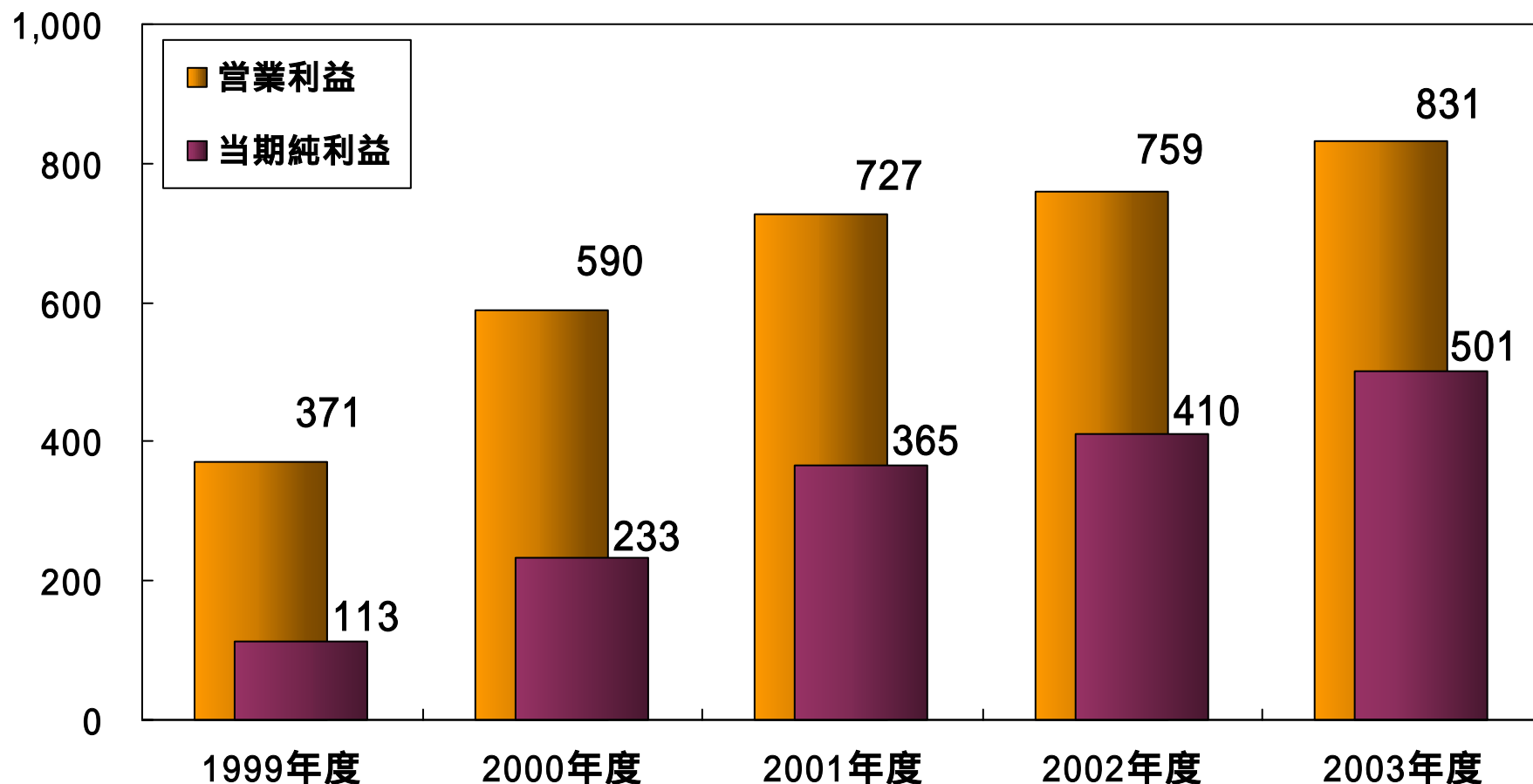
(億円)



# 4期連続最高実績の達成

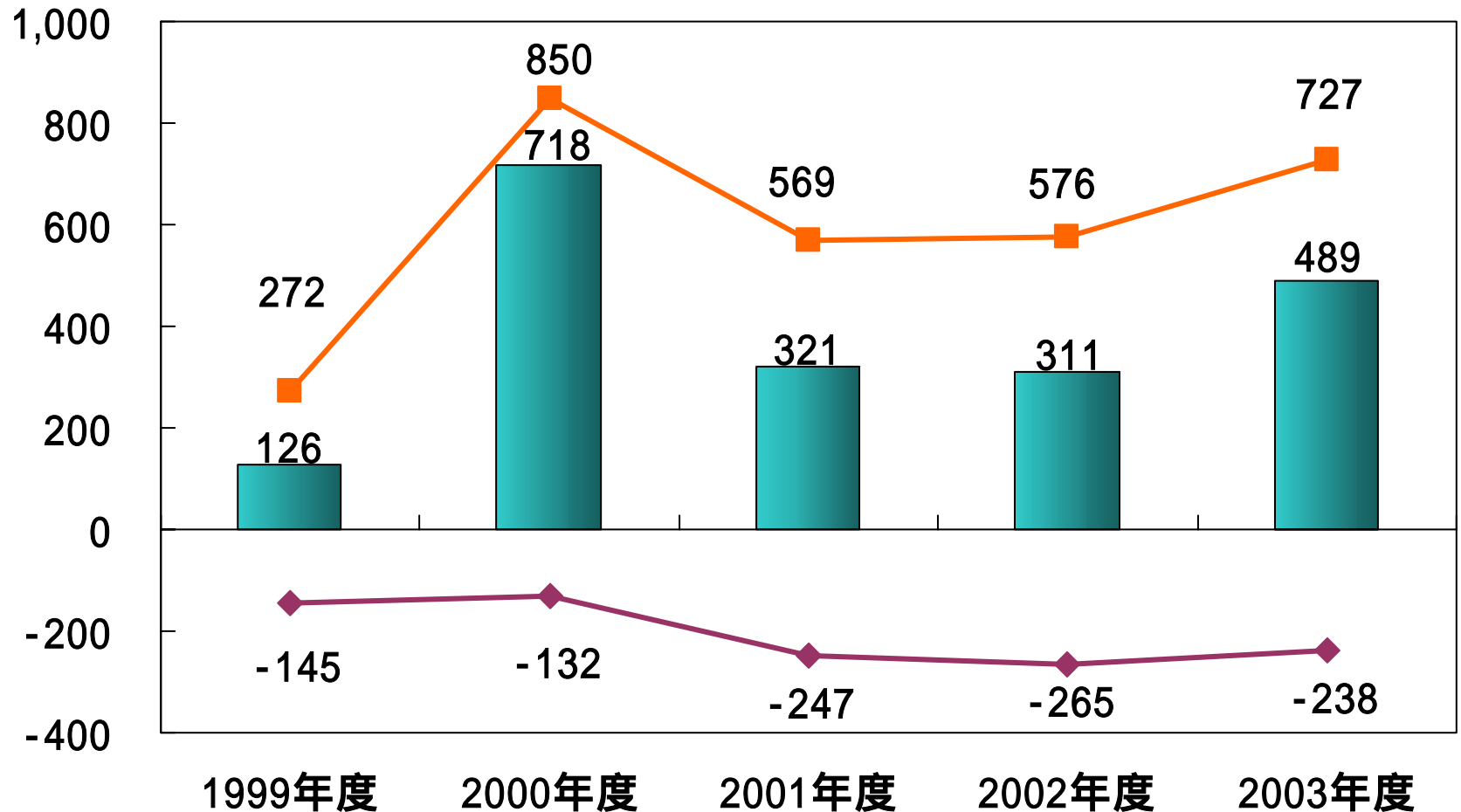
## - 利益 -

(億円)



# フリー・キャッシュ・フロー

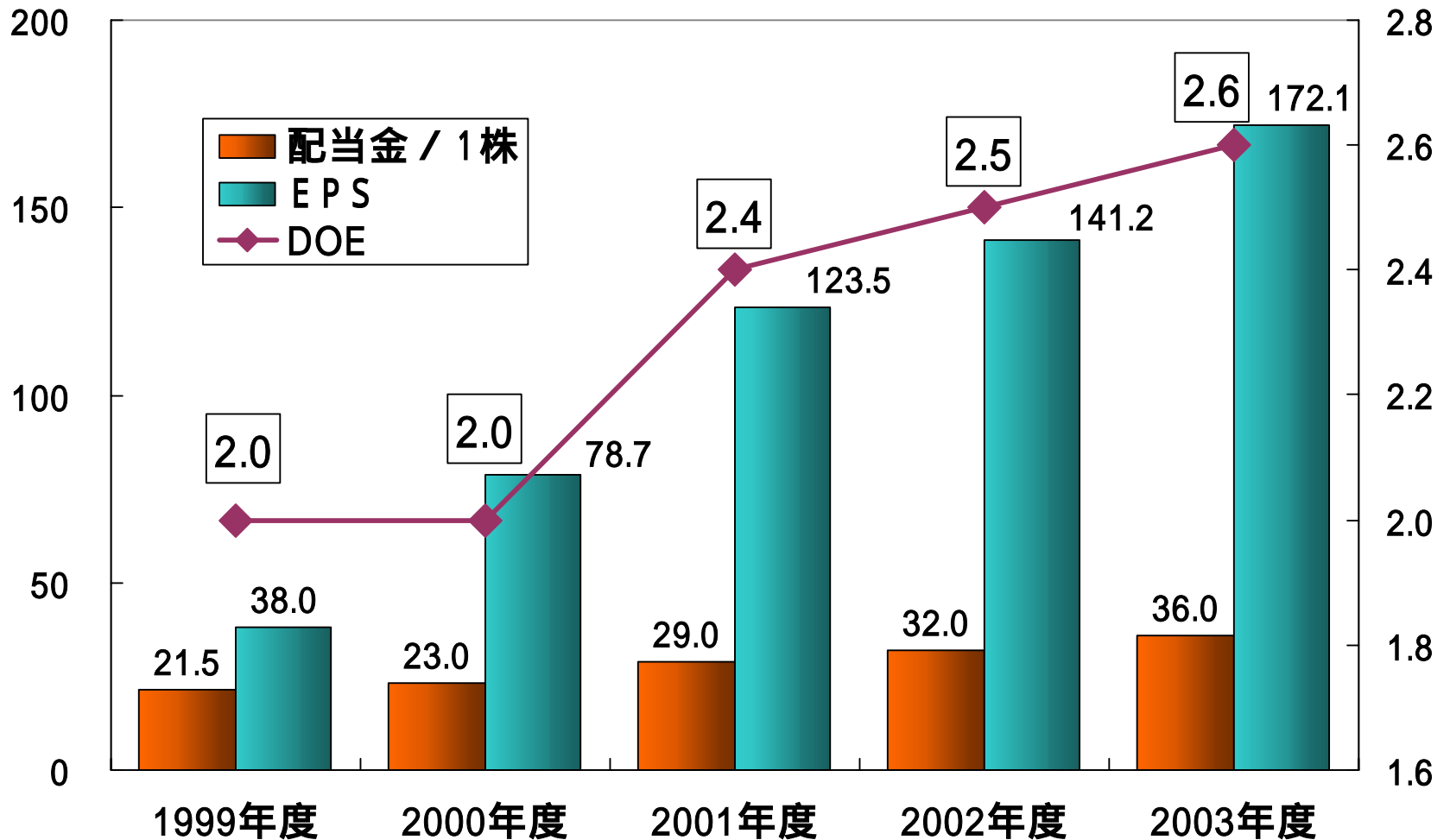
(億円) ■ フリー・キャッシュ・フロー ■ 営業キャッシュ・フロー ◆ 資本的支出等



# 安定的、継続的な配当

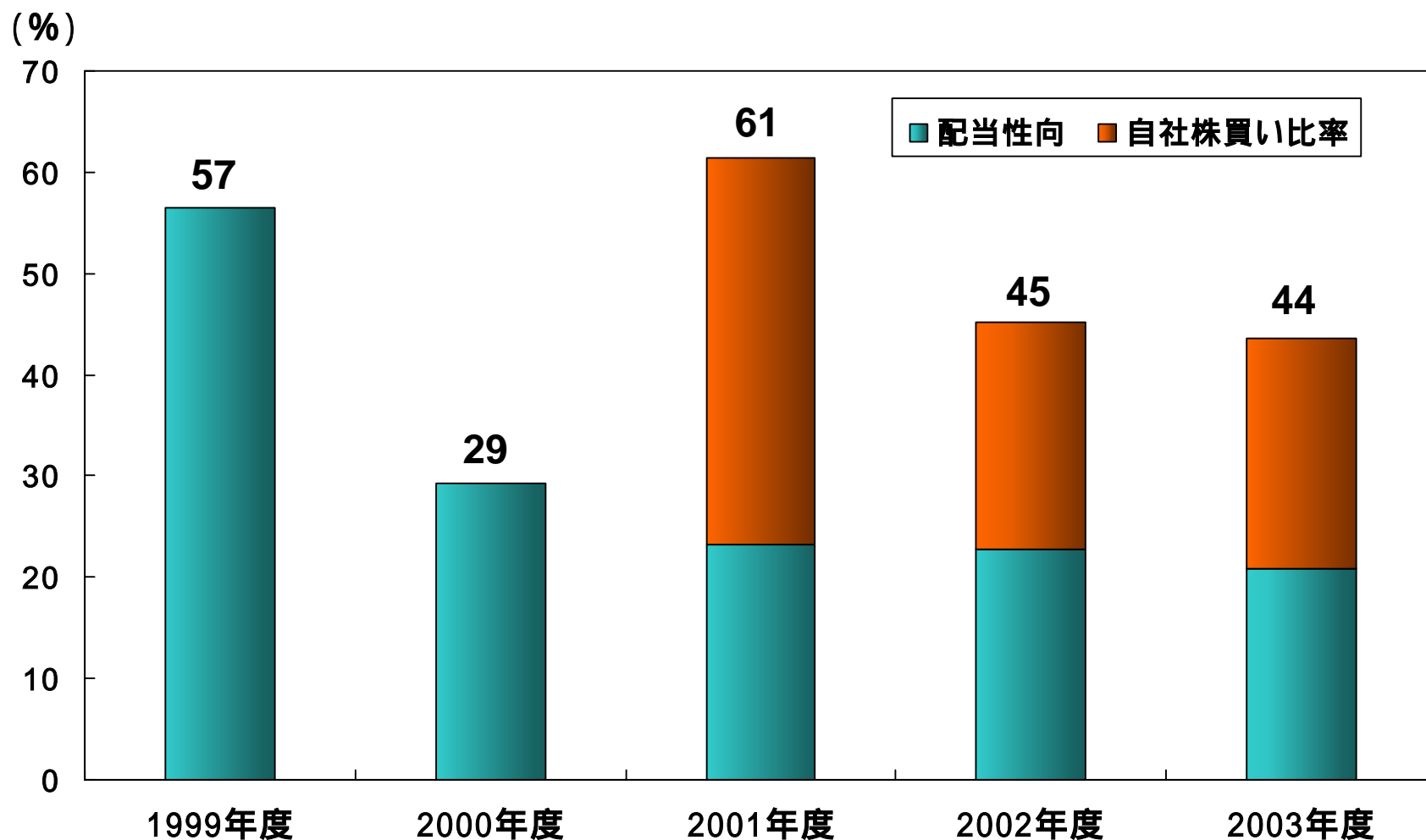
(配当金、EPS:円)

(DOE:%)



# 株主還元向上

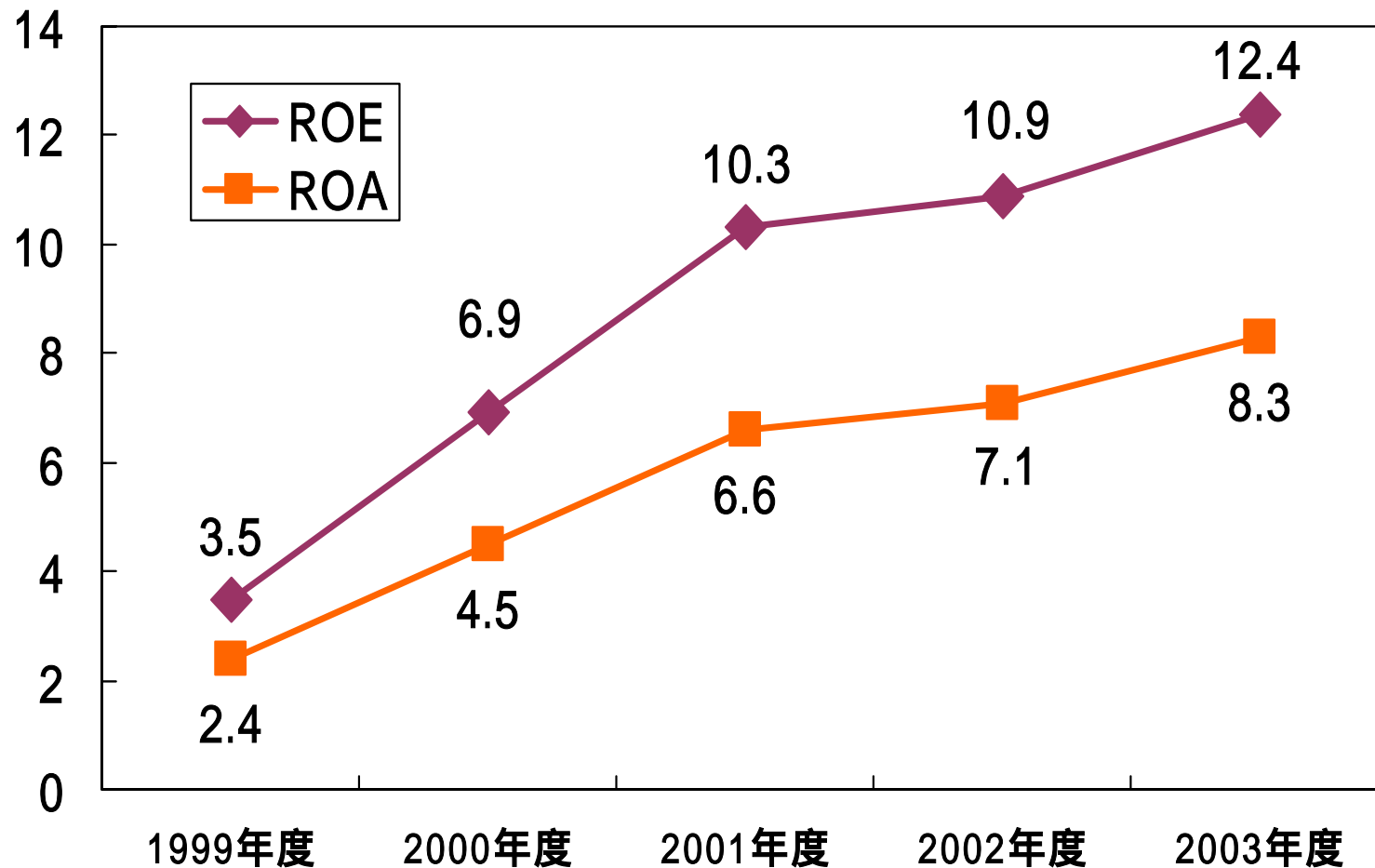
## 総還元性向 (Total Return Ratio)



\*総還元性向 = 配当性向(配当 / 純利益) + 自社株買い比率(自社株買い / 純利益)

# 投下資本に対する収益性の向上

(%)



# 資本効率の向上による株主価値の創造

## - Economic Profit (経済的利益) の試算 -

(億円)

600

500

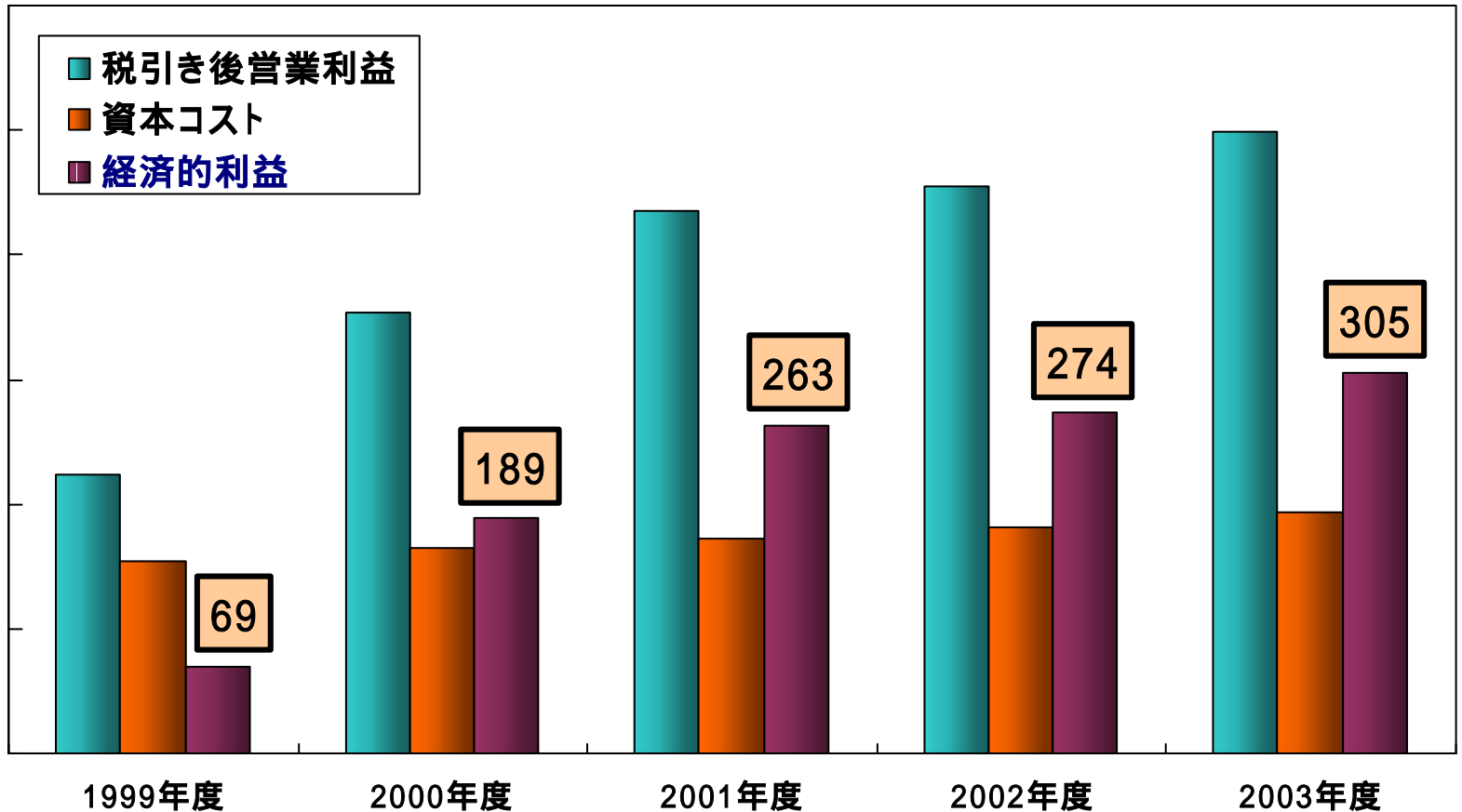
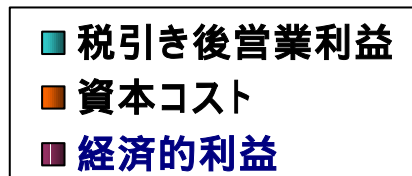
400

300

200

100

0



・ Economic Profit (経済的利益) は一般的前提に基づき暫定的な数値を、株主価値の創造を示す参考値として試算したものであり、会計上の利益とは異なります。

・ 計算の前提と会計上の数値との整合性;

経済的利益 = 税引き前営業利益 - 資本コスト

税引き後営業利益 = 営業利益 × (1 - 実効税率)

資本コスト = 使用資本 × 加重平均資本コスト率

使用資本 = 期初自己資本 (簡便法)

実効税率 = 40% (一般的仮定)

加重平均資本コスト率 = 5% (一般的仮定)



# 2004年度 第 期グローバル化の幕開け

多品目展開と  
それを支える  
営業体制の構築

New Molecular  
Entity (NME)  
年1品申請の実現

アリセプト、パリエット/アシフェックス  
をコアとした多品目展開と  
それを支える営業体制の構築

# 米国アウトルック



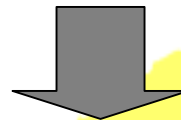
展開品目：6品目

アリセプト、アシフェックス、ラサジリン、ゾネグラン、  
ルフィナマイド、セレビックス

営業体制：

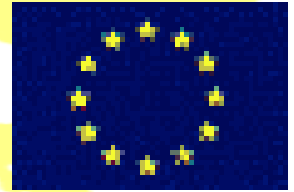
MR600名体制

- プライマリーケアチーム(約400名)
  - アシフェックス、アリセプトを中心に大型一般医を訪問
- ニューロロジーチーム(約100名)
  - ゾネグラン、アリセプトを対象に神経科医を訪問
- CNSチーム(約100名)
  - アリセプト、ゾネグラン、ラサジリンを対象に神経科医、精神科医などを訪問



合計600名のMRによる、  
多品目のシナジーを狙ったプロモーション展開

# 欧州アウトルック



展開品目：4品目

- アリセプト、パリエット、  
ゾネグラン(本年度内にEU25カ国での承認を期待)、  
ルフィナマイド(2004年度中に申請予定)

営業体制：

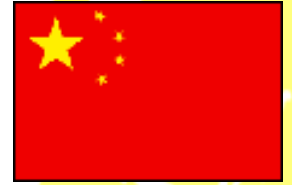
## 自社販売力の増強

- MR増員によるアリセプト、パリエットのコントロール力強化
- ゾネグラン、ルフィナマイド等、今後の新製品の自社単独販売

## 主要5カ国を中心とする拡大EUへの取り組み強化

- アリセプト、パリエットをキードライバーとする成長性の確保
- 主要5カ国への進出を企図
- 新規加盟国を含むEU全体のカバレッジへの足掛かり
- 神経と消化器領域を中心とした積極的な事業開発

# 中国アウトルック



## 展開品目：9品目

メチコバル、アリセプト、パリエット、ミオナール、セルベックス、ノイキノン、メリスロン、ケスチン(アルミラル)、プラノプリン(千寿製薬)

## 営業・生産体制：

- MR増員(現210名を250名へ)と人材育成
- 国の保険償還リストへの早期収載(アリセプト、パリエット)
- 展開都市(人口100万人以上)の拡大  
53都市から100都市へ
- さらなるビジネス・ディベロップメント
- 生産能力の拡大(約2倍)

# 日本アウトルック



戦略品目：8品目

神経	アリセプト、マクサルト
消化器	パリエット、セルベックス
筋・骨格	グラケー、アクトネル
造影剤	イオメロン、プロハンス

営業体制：

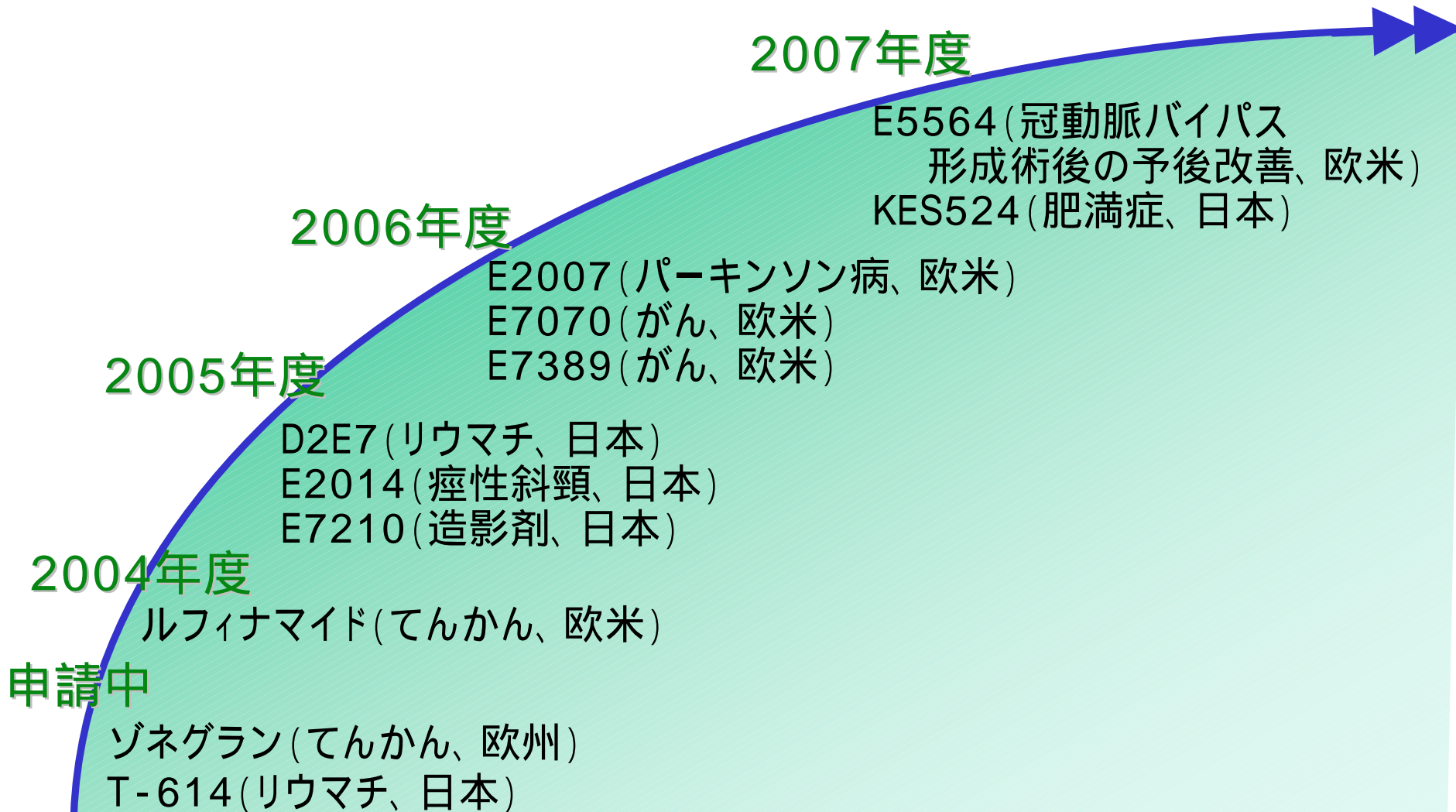
アリセプト・パリエットをコアとした多品目展開のために  
MRを1,200名に増強（2005年度）

- 領域に特化したエリアプロモーターの全国配置
- クラスタ-訪宣(大学、研修、病診連携等)
- 私的病院、大型開業医販路強化

# New Molecular Entity (NME) 年1品申請の実現

# New Molecular Entity ( N M E )

## 年 1 品申請の実現





# 最注力しているグローバル開発4品

## 2004年度 Proof of Concept (POC) 完了

E 5 5 6 4 エンドトキシン拮抗剤 (フェーズ b、注射)

敗血症: 第3ステージ進行中

CABG: 第3ステージ進行中(米国) フェーズ b進行中(欧州)

E 7 0 7 0 細胞周期G1期阻害 (フェーズ b、注射)

大腸がん・非小細胞肺がん: 併用試験進行中

乳がん: 単剤および併用試験進行中

E 7 3 8 9 チューブリン重合阻害剤 (フェーズ b、注射)

NCIのフェーズ b とエーザイのフェーズ b 並行して進行中

E 2 0 0 7 AMPA受容体拮抗剤 (フェーズ b、経口)

パーキンソン病: フェーズ b進行中

後期パイプラインの充実をはかる

# 国内重要テーマの進展

## 関節リウマチへの異なる作用メカニズムによるアプローチ

T-614: 経口剤 (新DMARD) 2003年9月申請済

炎症性サイトカインの産生、リンパ球増殖及び免疫グロブリン産生の抑制  
既存DMARD無効例への有効性

D2E7: 注射剤 (ヒト抗TNF- $\alpha$ モノクローナル抗体)  
2005年度申請予定

関節リウマチに関与する主なサイトカイン (TNF- $\alpha$ ) の中和  
単剤で中等および重症例への速やかな有効性

## 肥満症へのアプローチ

KES524: 肥満症治療剤

(セロトニンおよびノルアドレナリン再取り込み阻害剤)

2007年度申請予定

中枢作用による満腹感の亢進と体内のエネルギー消費の亢進による  
体重減少

エーザイの単独開発・販売

# オンコロジープロジェクトの充実

多面的アプローチで  
がん治療のニーズを充足する

がんの縮小

増殖阻止

延命効果

新規作用  
メカニズム

新規  
分裂阻害

血管新生  
阻害

再発防止

E7070  
細胞周期G1期阻害  
欧米日  
フェーズ

E7389  
チューブリン重合阻害  
米  
フェーズ

E7820  
インテグリン 2阻害  
米  
フェーズ

E0167  
ビタミンK2による  
肝細胞がん再発抑制  
日本  
フェーズ

E7107  
微生物代謝産物由来  
前臨床

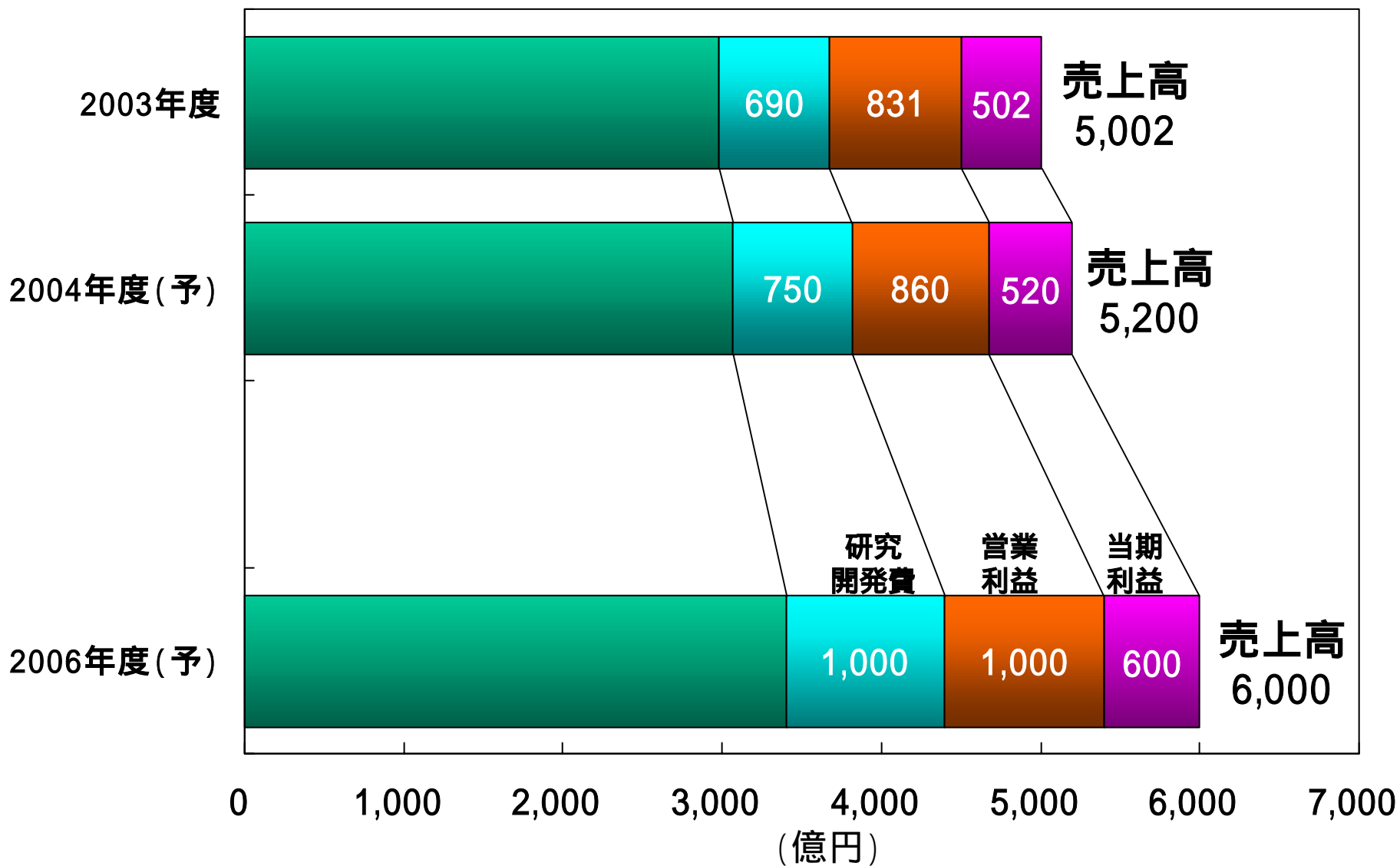
E7080  
VEGF受容体  
チロシンキナーゼ阻害  
前臨床

# 臨床開発品

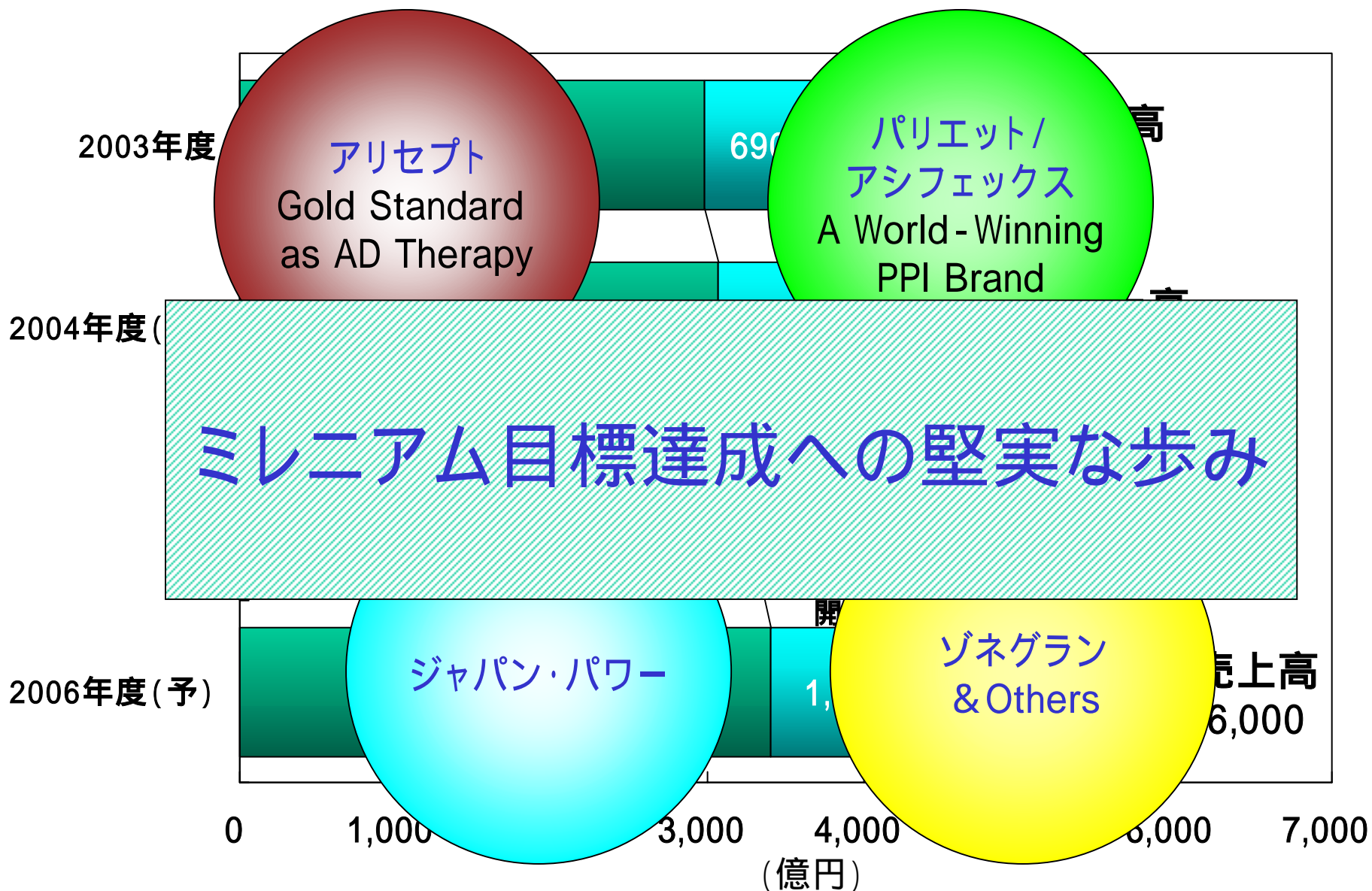
	開発品目	フェーズ	フェーズ	フェーズ	申請	発売
神経	アリセプト（脳血管性痴呆）米					
	アリセプト（口腔内崩壊錠）欧米					
	アリセプト（液剤）米					
	アリセプト（高度AD）欧米日					
	アリセプト（パーキンソン病にともなう痴呆）欧					
	アリセプト（片頭痛予防）欧米					
	ゾネグラン（てんかん）米					
	ゾネグラン（てんかん）欧					
	rufinamide（てんかん）欧米					
	<rasagiline（パーキンソン病）>米					
	E 2 0 0 7（パーキンソン、てんかん、多発性硬化症）欧米					
	E 2 0 1 4（痙性斜頸）日					
	E 2 0 5 1（急性期脳梗塞）欧					
	E 2 0 7 0（神経性疼痛）欧					
消化器	パリエット（オンデマンド療法）欧					
	パリエット（ゾリンジャー・エリソン症候群）欧					
	パリエット（H.ピロリ除菌）日					
	アシフェックス（小児GERD）米					
	E 3 6 2 0（消化管運動改善）日					
	E 3 3 0 9（H.ピロリ除菌）欧					
がん	E 7 0 7 0（G1期阻害剤）欧米日					
	E 0 1 6 7（ビタミンK <sub>2</sub> 肝がん再発抑制）日					
	E 7 3 8 9（チューブリン重合阻害剤）米					
	E 7 8 2 0（インテグリン 2阻害剤）米					
筋・骨格	T - 6 1 4（関節リウマチ）日					
	D 2 E 7（リウマチ）日					
他領域	クリアクター（急性肺塞栓）日					
	クリアクター（脳塞栓）日					
	タンボコール（発作性心房細動・粗動）日					
	E 7 2 1 0（超音波造影剤）日					
	E 5 5 6 4（冠動脈バイパス形成術後の予後改善）欧米					
	E 5 5 6 4（敗血症）米					
	K E S 5 2 4（肥満症）日					
	E 5 5 5 5（狭心症及び心筋梗塞患者の発作予防）米					
E 6 0 4 0（自己免疫疾患）日						

# 2006年度へのロードマップ

# 2006年度へのロードマップ



# 2006年度へのロードマップ



2004年度  
通期業績・配当見通し



(億円、%)

	2003年度 実績	2004年度 見通し	前期比
売上高	5,002	5,200	104
研究開発費	690	750	109
営業利益	831	860	104
(研開費 + 営業利益率)	30.4%	31.0%	-
当期利益	501	520	104
EPS (円)	172.1	180.7	105

配当 (円)	36.0	42.0	
DOE (%)	2.6	2.7	